



Tohto University
Sincerity with Compassion

President's Newsletter

Vol.6 2025年6月11日

4年生合同授業が幕張キャンパスで行われました

本学の理念「まごころとおもいやり」の実践、ヒューマンケアの実践の教育として全学教務委員会、全学教養教育部会等において、キャンパス間における教養科目の共通化や連携、学科間の合同授業などの検討を進めてまいりました。その一環として、今年度より複数の科目において、キャンパス内で合同授業が本格的に始動しています。

学科合同による授業では、異なる専門領域を学ぶ学生同士がグループ討議を通じて相互理解を深めることで、将来の多職種連携にもつながる深い学びが期待されます。

先日、幕張キャンパスでは、4年生を対象とした合同授業が実施されました。本授業では、幕張HC学部看護学科と理学療法学科の学生が混合チームを組み、以下のテーマに基づくグループ討議・発表を行いました：

【4月8日授業テーマ】多職種連携に必要な専門職としての心構えを考える・自分がどのように医療の危機管理に対処するかを考える

担当教員 幕張HC学部看護学科：香川将大先生、楊恵晴先生
幕張HC学部理学療法学科：金内則子先生
幕張HC学部健康科学科：望月由紀先生

【5月20日授業テーマ】東都大学蘇我教育センターにおける「訪問看護・リハビリステーションの設立」

担当教員 吉岡俊正学長
幕張HC学部看護学科：堀之内若名先生、須釜真由美先生、香川将大先生、楊恵晴先生、白石貴子先生、加藤寛章先生
幕張HC学部理学療法学科：平野康之先生、金内則子先生、杉山聡先生
幕張HC学部健康科学科：望月由紀先生

2学科混合で5~6名が1チームとなり、1回目は医療の危機管理、2回目は医療施設の構築について討論し、全26グループが発表しました。

学生たちは、自らの専門知識を土台に、他職種の視点も取り入れながら具体的な提案をまとめ、実践的な発表をし、各グループの発表に対して担当教員が講評やアドバイスを行いました。このような学びの場は、専門職間の理解と協働の姿勢を育む重要な契機となります。今後も各キャンパスにおいて、このような横断的・協働的な教育の機会をさらに拡充し、本学の教育の質を一層高めてまいります。



5月20日授業風景



合同授業とは別に、昨年度より全学教養教育部会においてキャンパス内での教養科目の共通化の検討が行われ、下記科目が2025年度より共通化され、学科合同授業が開始しています。

【深谷キャンパス】

情報処理

大学入門講座（一部合同）

基礎英語・英語Ⅰ

実践英語・英語Ⅱ

実践医療英語Ⅰ・英語Ⅲ

実践医療英語Ⅱ・英語Ⅳ

【幕張キャンパス】

倫理と医療（2学科合同）

大学入門講座（一部4学科合同）

医療関係職種論・チーム医療論（一部2学科合同）

【沼津キャンパス】

大学全体での共通化科目について検討しています。

※2024年度以前から共通化済みの科目は除く。